

令和5年度 千葉運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

開催概要

<主催：関東運輸局 千葉運輸支局>

- 日時：令和5年11月27日（月）13：30～15：30
- 場所：サンプラザ市原（市原市五井中央西1-1-25）
- 基調講演：日本大学工学部特任教授 藤井 敬宏
- 議事（1）バリアフリーに関する取り組みについて
 - ・バリアフリー基本構想（君津市）
 - ・国のバリアフリーへの取組み（整備局・運輸局）
- （2）意見交換

委員

（敬称略）

- <座長> 藤井 敬宏（日本大学工学部特任教授）
本宮 敏雄（千葉県身体障害者福祉協会 理事長）
今野 正隆（千葉県視覚障害者福祉協会 会長）
渡辺 義幸（千葉県聴覚障害者協会 活動運営委員会
福祉対策部長）
- 渡邊 明美（千葉県手をつなぐ育成会 監事）
鴨 省次郎（千葉県精神障害者家族会連合会 副理事長）
窪田 輝美（千葉県自閉症協会）
板倉 康之（市原市シニアクラブ連合会 会長）

参画（委員以外）

- 【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道(株)、日東交通(株)、エミタスタクシー南房(株) 他
(一社)日本民営鉄道協会、(一社)千葉県タクシー協会
- 【関係行政機関】千葉県、市原市、木更津市、君津市、富津市、御宿町
- 【その他】 関東地方整備局、千葉国道事務所、関東運輸局

講演

- <基調講演> 【日本大学 工学部 特任教授 藤井 敬宏】「自治体の「気づき」への取り組み」
<講演> 【君津市】「バリアフリー基本構想」

会議での発言（委員より）

- ・最近のバスはステップが低く非常に使い易くなった。
- ・精神障害者への割引がないので、導入をして頂きたい。
- ・みどりの窓口において閉鎖の数が非常に増えていることから、代わるような配慮をして頂きたい。
- ・踏切の安全施策を一緒に進めて行ければと思う。
- ・障害者用ICカードを介助者が単独で使用してしまうと割引になってしまうので、割引にならないように配慮して頂きたい。
- ・タクシーに筆談ポートみたいなものを設置していただくと利便性が上がると思う。
- ・他県でタクシーを使用した時に領収書に割引額が入っていたことが有難い。
- ・千葉県は電柱が地中化されて、障害者の方にとって歩きやすい状況となった。
- ・行先案内やトイレ、階段等のサインシステムが理解でき且つ共通であると助かる。
- ・高速道路で何かあったときに、LINEを活用し通報が出来るシステムがあるので、皆様が使いやすい道路ができるのではと思った。

開催概要

＜主催：関東運輸局栃木運輸支局＞

- 日時：令和5年11月29日（水）13:30～15:30
- 場所：栃木県自動車整備振興会 教育会館 3階会議室
- 講演：宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 古賀 誉章 氏
「バリアフリーとユニバーサルデザイン」
- 報告：国のバリアフリーの取り組みについて
（関東運輸局、関東地方整備局）
- 意見交換

委員

- ＜座長＞大森 宣暁（宇都宮大学地域デザイン科学部 教授）（敬称略）
- 長谷川 万由美（宇都宮大学共同教育学部 教授）
- 麦倉 仁巳（一般財団法人 栃木県身体障害者福祉会 会長）
- 兼目 ちえ子（一般社団法人 栃木県視覚障害者福祉協会 副会長）
- 稲川 直樹（一般社団法人 栃木県聴覚障害者協会 理事）
- 薄井 益美（一般財団法人 栃木県老人クラブ連合会 常務理事）
- 鈴木 勇二（一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会 理事）
- 興野 憲史（栃木県精神保健福祉会 会長）
- 平山 奈穂子（栃木県自閉症協会 理事）

参画（委員以外）

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、宇都宮ライトレール株式会社、関東自動車株式会社、ジェイアールバス関東株式会社、矢野自動車株式会社、一般社団法人栃木県バス協会、一般社団法人栃木県タクシー協会、【関係行政機関】栃木県、栃木県警察本部、鹿沼市、真岡市、益子町、高根沢町、さくら市、塩谷町、足利市、栃木市、野木町、宇都宮市、芳賀町、日光市、下野市、壬生町、【その他】関東地方整備局、宇都宮国道事務所、関東運輸局

講演

【宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授 古賀 誉章 氏】 〈講演題目〉「バリアフリーとユニバーサルデザイン」

会議での発言（委員より）

- ・障害者の特性によっては、バスを使用して移動する際、慣れるまでに回数を重ねないといけない。事故等でタイヤが乱れると混乱してしまい、乗り換え等にうまく対応が出来ない場合がある。研修等を実施して障害の特性によって柔軟に対応できるようにしていただけると助かる。
- ・バス運賃の割引について、栃木県でも今年の7月から精神障害者割引が導入された。これによりバスで外出する機会が増え、医療機関等にも通いやすくなり、非常に助かるという声をたくさん聞いている。鉄道運賃の割引について、近畿・九州では精神障害者割引が導入されている所もあるが、県内の鉄道では導入されていない所もある。バスと同様に導入していただきたい。
- ・バスの車外アナウンスが時々切れており、視覚障害の方にとって行き先を把握することが困難な時がある。行き先がはっきりわかるよう、車外アナウンスを徹底してほしい。
- ・高速道路の料金所は無人化になっている所が増えてきた。障害者手帳を機械に読み込ませるのだが、案内方法を音声以外も取り入れていただきたい。聴覚障害者も対応できるよう文章にして機械に貼り付ける等の工夫をしていただけると助かる。
- ・ICカードについて、今年3月から介護者用ICカードを使えるようにしていただき助かっている。時間帯によっては改札に駅員がいない駅もあるので、以前のように手帳を見せて処理していただくということがなくなり、スムーズに乗車できるようになった。
- ・駅でバスに乗るのに点字ブロックの上に人が並んでおり、視覚障害の方にとって通行に非常に困る。点字ブロックの上に並ばないように、案内係に誘導してもらえると助かる。

令和5年度 茨城運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

開催概要

〈主催：関東運輸局茨城運輸支局〉

- 日時：令和5年12月21日（木）14：00～16：20
- 場所：茨城県開発公社ビル 4階 大会議室
- 議事：
 - ・国におけるバリアフリーの取り組み（関東運輸局、関東地方整備局）
 - ・つくば市におけるバリアフリーの取り組み（つくば市企画経営課）
 - ・意見交換

委員

（敬称略）

- 〈座長〉山田 稔（茨城大学 名誉教授）
坂本 鉄夫（公益財団法人 茨城県老人クラブ連合会 会長）
小林 茂敏（社会福祉法人 茨城県視覚障害者協会 理事）
今井 利幸（一般社団法人 茨城県聴覚障害者協会 福祉委員長）
青木 勉（一般社団法人 茨城県心身障害者福祉協会 理事）
沼尻 由美（茨城県肢体不自由児者父母の会連合会 副会長）
根本 比呂子（一般社団法人 茨城県精神保健福祉会連合会 副会長）
井寺 弘孝（茨城LD等発達障害親の会 星の子 代表）
小松崎 進（一般社団法人 茨城県身体障害者福祉協議会 理事）
有賀 絵理（茨城県地方自治研究センター 研究員）

参画(委員以外)

- 【施設設置管理者】東日本旅客鉄道(株)水戸支社、ひたちなか海浜鉄道(株)、鹿島臨海鉄道(株)、茨城交通(株)、ジェイアールバス関東(株)水戸支店、関東鉄道(株)、関鉄グリーンバス(株)、(一社)茨城県バス協会、(一社)茨城県ハイヤー・タクシー協会、(独)自動車事故対策機構 茨城支所
- 【関係行政機関】茨城県、茨城県警察本部、つくば市、日立市、常陸太田市、常陸大宮市、高萩市、大子町、水戸市、笠間市、ひたちなか市、茨城町、大洗町、東海村、結城市、筑西市、桜川市、五霞町、土浦市、取手市、稲敷市、龍ケ崎市、守谷市、鹿嶋市、鉾田市、行方市
- 【国土交通省】関東地方整備局、常陸河川国道事務所、関東運輸局、茨城運輸支局

バリアフリーの取り組み等

【つくば市】「つくば市バリアフリーマスタープラン」のポイントについて

- ・「つながりをカに「誰一人取り残さない」まちづくり」を基本理念とする「つくば市バリアフリーマスタープラン」（令和5年度策定予定・県内初のバリアフリーマスタープラン）について、策定に至った経緯やこれまでの進め方、マスタープランの概要等を紹介。

会議での発言(委員より)

- ・外出の際、今まで健康なときには全く感じなかったのですが階段の上り下りでは転ばないように手すりにつかまりながらしております。そういったところはバリアフリーの改善等につながるのかなと感じております。
- ・盲導犬ユーザーの場合、タクシーの乗車拒否というのが時々あります。来年度からは一般企業も合理的配慮の義務が生じる中で、乗車拒否を今後なくしていくためにはバリアフリー教室のようなものをタクシー事業所にも展開していただいて、理解を深めていただくと良いのかなと思っております。
- ・健康で若いうちは良いのですが、何かしらの原因で障害を背負う方もいらっしゃると思いますが、年を取ってくると、耳が聞こえなくなったり、目が見えなくなったり、手足が思うように動かなくなったりとか、そういうことが誰しも起こり得ることかと思えます。人ごとではなくて、こういったバリアフリーという問題については常々頭に入れておかなければならないのではないかと思います。
- ・関東地区において鉄道の駅の窓口が対人ではなくなる、減るという話を聞きました。聞こえない者としてはとても困っています。窓口で機械の使い方などを対人で教えてほしいと思っていますので、ぜひそれを残してほしいと思います。
- ・車いす専用の駐車場で後ろの車止めが非常に高くなっていて、車いすの場合、車の後ろからリフトを出す場合が多くあり、その車止めが引っかかってしまって車いすを出すことができない。せっかく屋根があっても頭から突っ込むしかなくなってしまい、非常に残念と思うことがたくさんあります。
- ・身体障害者、知的障害者の方々には交通運賃割引がある場合であっても、精神障害者に対する交通運賃割引が十分でないという制度上の遅れがあります。3障害同一の制度でのバリアフリー化をお願いいたします。
- ・バス停でバスを待つためにかなり並びます。並ばなくてもバスに乗れるような仕組み、そういうのが出来るといいのではと考えています。そうすると障害を持っている方もすごく楽になると思います。
- ・電車の駅において一人で乗り降りできるような環境づくりをしてほしいと思います。バリアフリーが完璧であれば誰の手も借りずに電車に乗り降りできるという環境が達成すると思うのでよろしくお願ひしたいと思ひます。
- ・障害者差別解消法の改正について、周知度を上げるためにも各自治体で研修会等を実施されるべきではないかと考えております。

令和5年度 群馬運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

開催概要

＜主催：関東運輸局 群馬運輸支局＞

- 日時：令和6年1月26日（金）14：00～16：00
○場所：群馬県市町村会館 大会議室
○議題：
（1）関東運輸局のバリアフリーの取り組みについて
（2）関東地方整備局のバリアフリーの取り組みについて
（3）鉄軌道駅及び鉄軌道車両のバリアフリー化状況について
（4）近年のバリアフリーに関する相談事例について
（公益社団法人群馬県身体障害者福祉団体連合会）
（5）意見交換

委員

（敬称略）

- ＜座長＞湯沢 昭（公立大学法人前橋工科大学名誉教授）
橋本 巧（社会福祉法人群馬県社会福祉協議会施設福祉課長）
杉田 安啓（公益社団法人群馬県身体障害者福祉団体連合会会長）
野口 和彦（一般財団法人群馬県老人クラブ連合会事務局次長）
吹野 香織（一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟理事）
若井 隆弘（公益社団法人群馬県知的障害者福祉協会副会長）
茂木 勤（公益社団法人群馬県視覚障害者福祉協会会長）
上野 勝征（特定非営利活動法人群馬県精神障害者社会復帰協議会）
山田 智子（群馬県自閉症協会事務局）

参画（委員以外）

- 【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道株式会社高崎支社、東武鉄道株式会社、上信電鉄株式会社、上毛電気鉄道株式会社、わたらせ渓谷鐵道株式会社
一般社団法人群馬県バス協会、一般社団法人群馬県タクシー協会
【関係行政機関】群馬県、群馬県警察本部、前橋市、高崎市、伊勢崎市 【国土交通省】関東地方整備局、関東運輸局

講演

【公益社団法人群馬県身体障害者福祉団体連合会】＜講演題目＞「近年のバリアフリーに関する相談事例について」

バリアフリーの取り組み等

- 【東日本旅客鉄道(株)高崎支社】エレベーターの設置、バリアフリー対応車両の導入、サービス介助士の養成、声かけ・サポート運動の取り組み 他
【東武鉄道株式会社】ホーム柵の整備、駅設備・車両のバリアフリー化、情報提供サービス・案内設備の拡充、サービス介助士の資格取得 他
【上信電鉄株式会社】点字ブロックの設置、車いす・オストメイト対応トイレの設置、車いすスペース設置車両の導入 他
【上毛電気鉄道株式会社】駅設備のバリアフリー化、身体障害者対応トイレの設置 他
【わたらせ渓谷鐵道株式会社】駅設備のバリアフリー化、デジタルサイネージの設置、駅構内のバリアフリー化状況のHP掲載 他

会議での発言（委員より）

- ・バリアフリーを進める上で、いわゆる社会的弱者の人だけでなく、そうでない人にとってもプラスになるものだという意識付けを進めていただきたい。
- ・以前ノンステップバスの路線バスを利用した際、車いす利用者の方が乗車された時にドライバーの方が短時間で素早く車いすを固定し出発された。障害のある方にとって非常にありがたいことだと感じた。
- ・みどりの窓口が閉鎖している中、窓口のある駅へ行くと混雑しており、対応にとっても時間がかかる。インターネットで予約を行う場合も、使い慣れていない方は非常に大変。何か配慮を考えていただきたい。
- ・バリアフリー教室について、聴覚障害や知的障害を対象とした教室の検討をお願いしたい。
- ・台風や降雪、事故等で交通機関が不通になった際の掲示方法について、知的障害のある方が理解しやすいような配慮をしていただきたい。
- ・信号機の音響装置が鳴らなくなっている信号機があり、早急に対応していただきたい。点字ブロックやエスコートゾーンを今後もさらに増やしていくとともに、劣化したものは修理をし、良好な状態で活用していくことが重要。点字ブロックは連続して設置することが歩行支援には重要。

開催概要

<主催：関東運輸局埼玉運輸支局>

- 日時：令和6年2月22日（木）14：00～16：00
- 場所：レイボックホール6階 集会室1
- 議事：
 - ・国におけるバリアフリーの取り組みについて
 - ・自治体におけるバリアフリーの取り組みについて
 - ・意見交換

委員

(敬称略)

- <座長>高橋 儀平（東洋大学 名誉教授）
- 大井田 弘子（公益社団法人埼玉県視覚障害者福祉協会 副会長）
 - 大内 伸一（一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会 事務局長）
 - 一之瀬 昌明（埼玉県精神障害者家族会連合会 会長）
 - 野島 久美子（埼玉障害者市民ネットワーク 代表）
 - 矢崎 弘美（埼玉親の会『麦』 代表）
 - 酒井 依子（埼玉県発達障害福祉協会 副会長）

参画(委員以外)

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、国際興業株式会社、朝日自動車株式会社、株式会社つばめタクシー、一般社団法人埼玉県バス協会、一般社団法人埼玉県乗用自動車協会【関係行政機関】埼玉県、埼玉県警察本部、さいたま市、戸田市、上尾市、川口市、吉川市、越谷市、本庄市、熊谷市、鴻巣市、三郷市、嵐山町、滑川町、松伏町【その他】関東地方整備局、関東運輸局

バリアフリーの取り組み等

- 【埼玉県】思いやり駐車場制度について
- 【さいたま市】さいたま市バリアフリー基本構想について

会議での発言（委員より）

- ・点字など設備の充実だけではなく、周りの人の声かけなどをしてもらえるとより安心安全に歩ける。
- ・視覚障害者はホームからの転落、移動に非常に不安がある。まだまだホームドアの設置が進んでいるわけでもないため、積極的に取り組んで欲しい。
- ・バス会社によって交通系ICカード読取部の設置場所が異なるため、統一していただきたい。
- ・バリアフリーは進んでいるが、聴覚障害者の困りごとがなかなか取り上げてもらえない。
- ・国際的な聴覚障害者への対応を示すシンボルマークがまだまだ設置されていない。マークが設置されていれば相談しやすいし安心である。
- ・精神障害者の運賃割引が他の障害に比べて進んでいないため、導入を促進してほしい。収入に比して交通費負担が大きく外出を控えることがある。
- ・知的障害者のためにトイレや駅名など様々なところで平仮名標記を増やしていただきたい。
- ・障害者差別解消法が改正され、「合理的配慮の提供」が義務化されていく中で一部の施設で車椅子を有料で貸し出しているが、疑問に思う。
- ・全国的に駅の無人化が進んでいるが、知的障害者にとっては不安が大きい。人の支えは非常に大きく、有人の駅を少なくしないよう検討して欲しい。
- ・発達障害のある人のスムーズな移動には分かりやすい表示と移動の配慮が必要。刺激的な色を避けてやさしい色で表示して欲しい。感覚過敏の人も多く、音声からの情報が雑音になる場合がある。電車の利用が困難で自家用車、タクシーなど家族の負担が重い。言葉で伝えるのが難しい人には文章を渡すなど、配慮が必要である。
- ・最近できた庁舎を見学したら使いにくかった。鉄道や道路、施設などを作るときは、設計の前に当事者の意見をよく聞いていただきたい。